



アリアケジャパン株式会社

2024年3月期 第3四半期 決算説明会資料

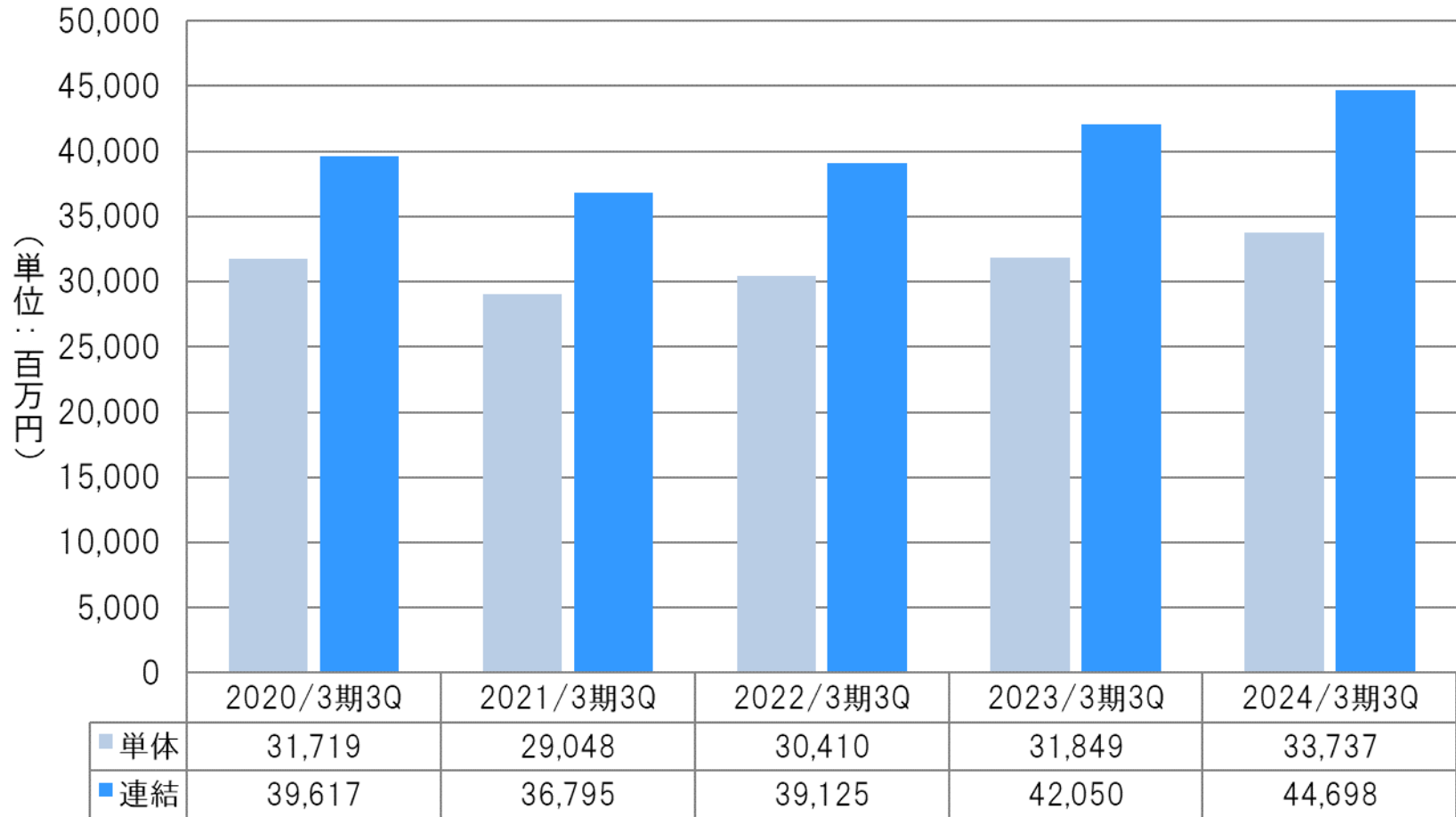
2024年2月9日

アリアケジャパン株式会社（証券コード2815）

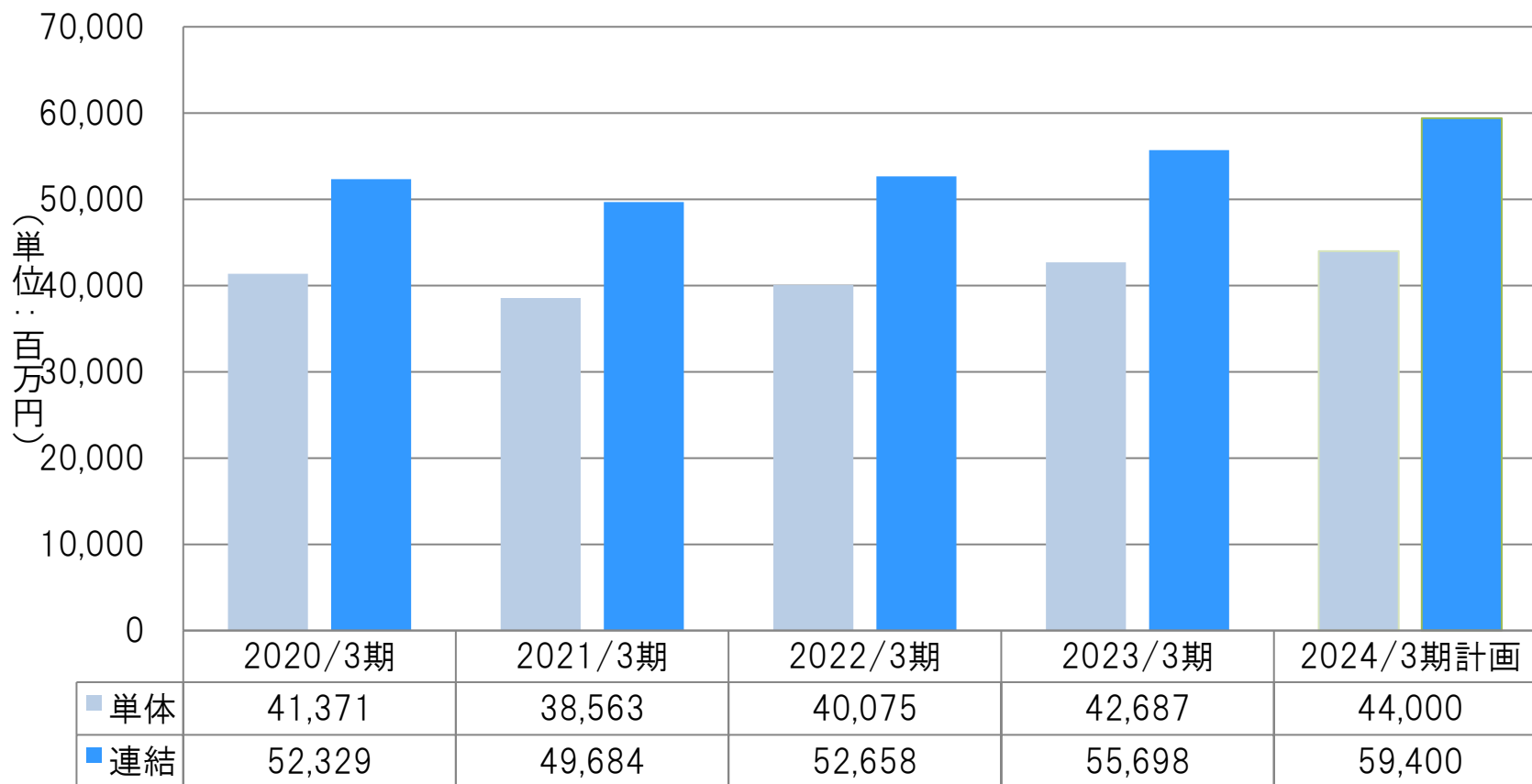
目次

02	売上高の推移（単体・連結）	15-22	今後のグループ成長戦略
04	営業利益の推移（単体・連結）	23	カテゴリ別売上比率及び増減
06	経常利益の推移（単体・連結）	24	サステナビリティへの取組
08	純利益の推移（単体・連結）	25	世界7極体制
10	第3四半期 売上高（対前年実績）		
11	第3四半期 営業利益（対前年実績）		〔補足資料〕 決算のポイント
12	第3四半期 単体業績の概要（利益変動要因）		
13	設備投資の推移（連結・単体）		
14	減価償却費の推移（連結・単体）		

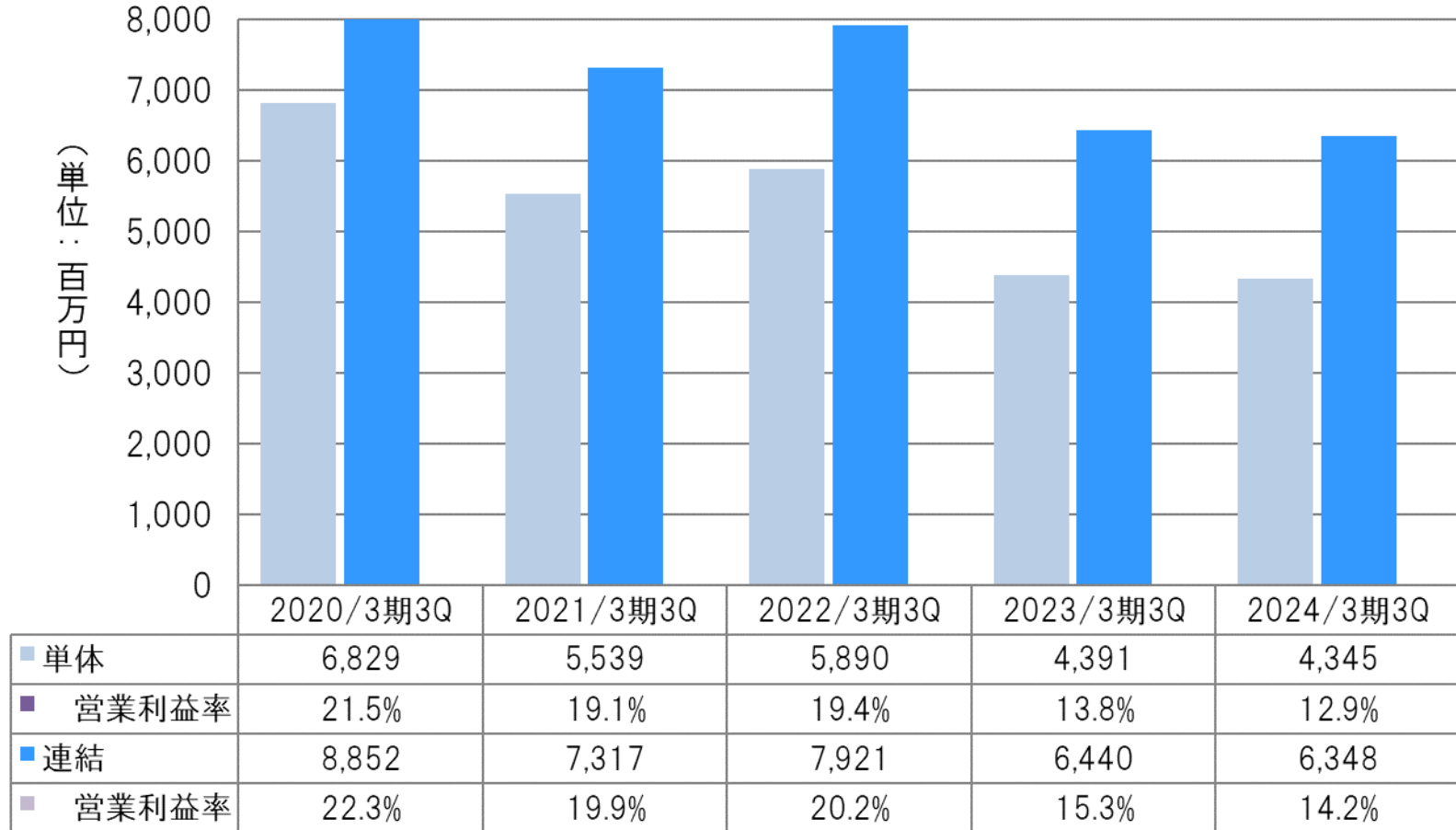
第3四半期 売上高推移（単体・連結）



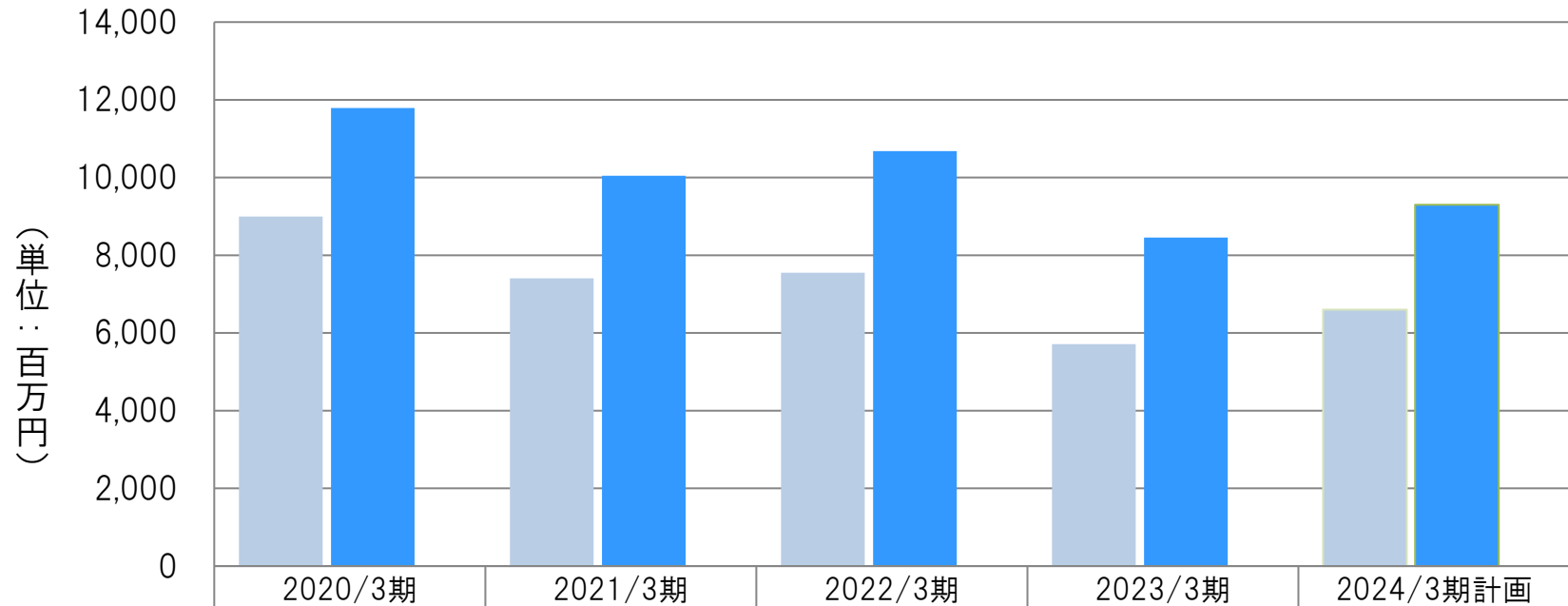
通期 売上高推移（単体・連結）



第3四半期 営業利益の推移（単体・連結）

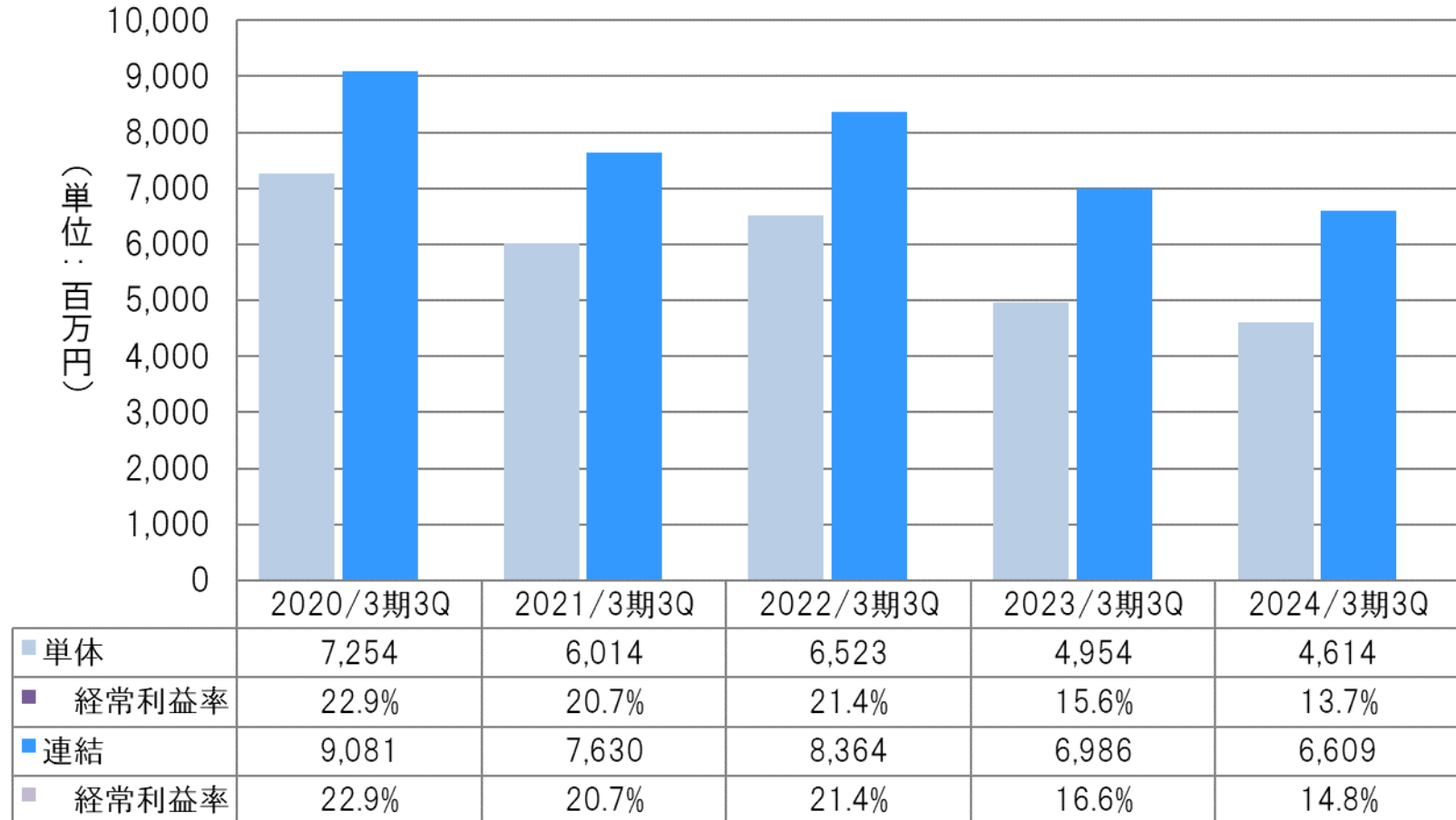


通期 営業利益の推移（単体・連結）

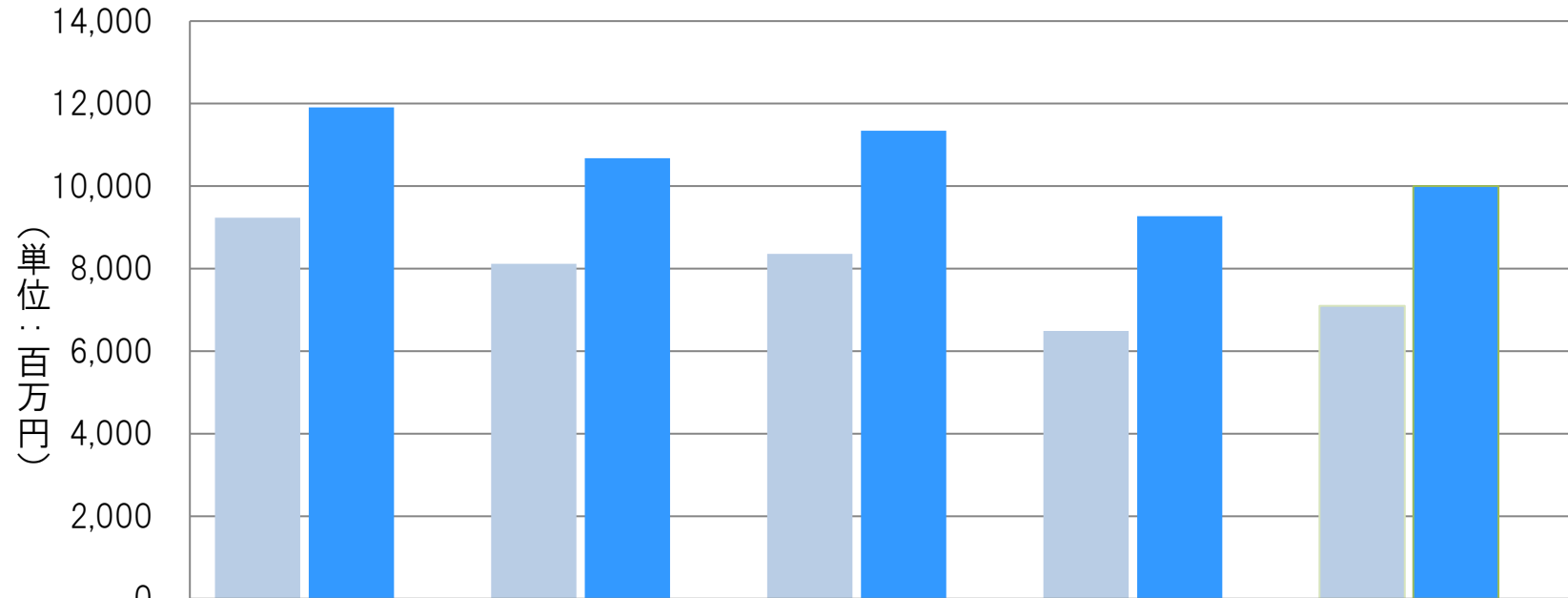


■ 単体	8,998	7,407	7,551	5,714	6,600
営業利益率	21.7%	19.2%	18.8%	13.4%	15.0%
■ 連結	11,789	10,046	10,682	8,455	9,300
営業利益率	22.5%	20.2%	20.3%	15.2%	15.7%

第3四半期 経常利益の推移（単体・連結）

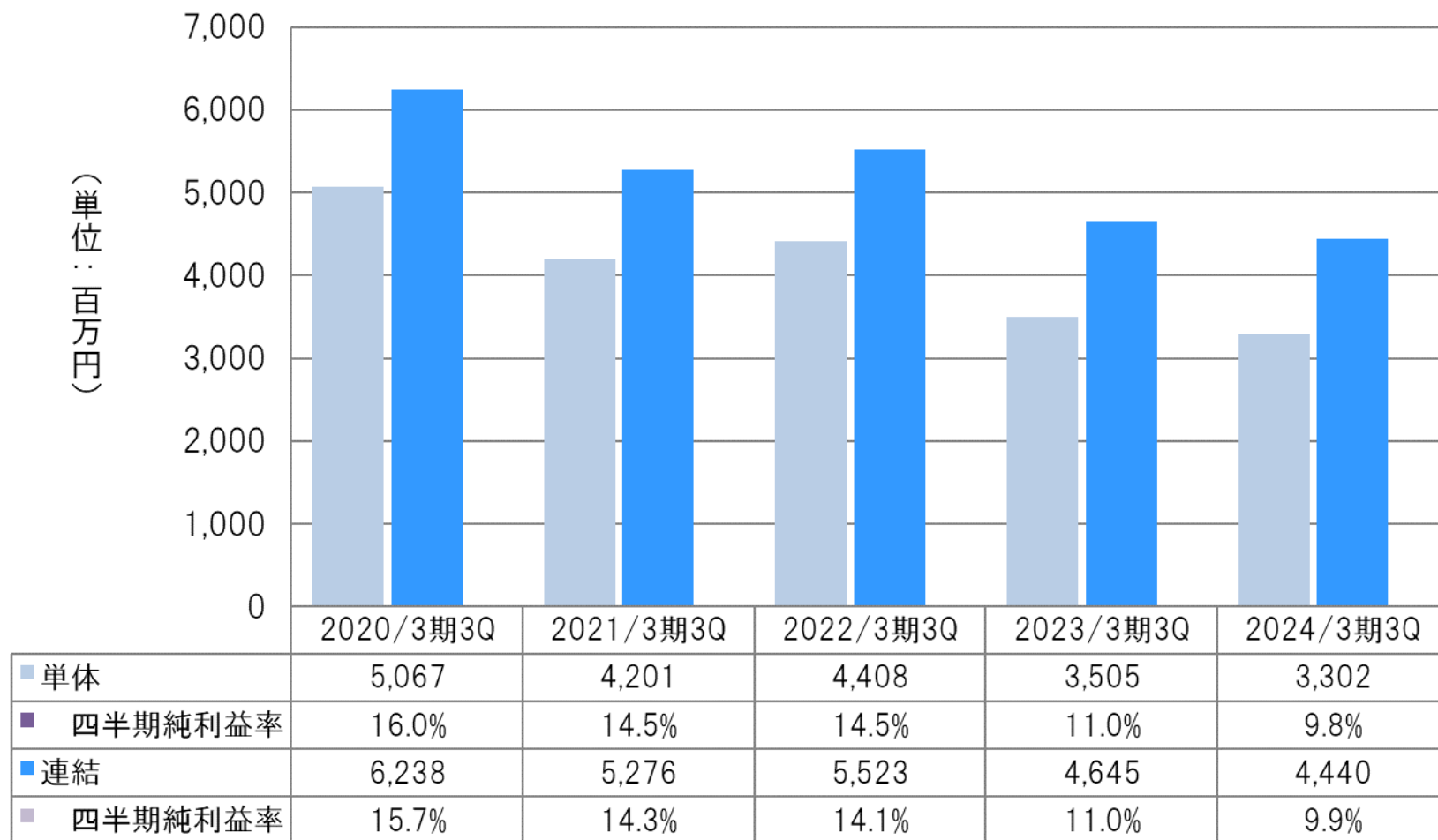


通期 経常利益の推移（単体・連結）

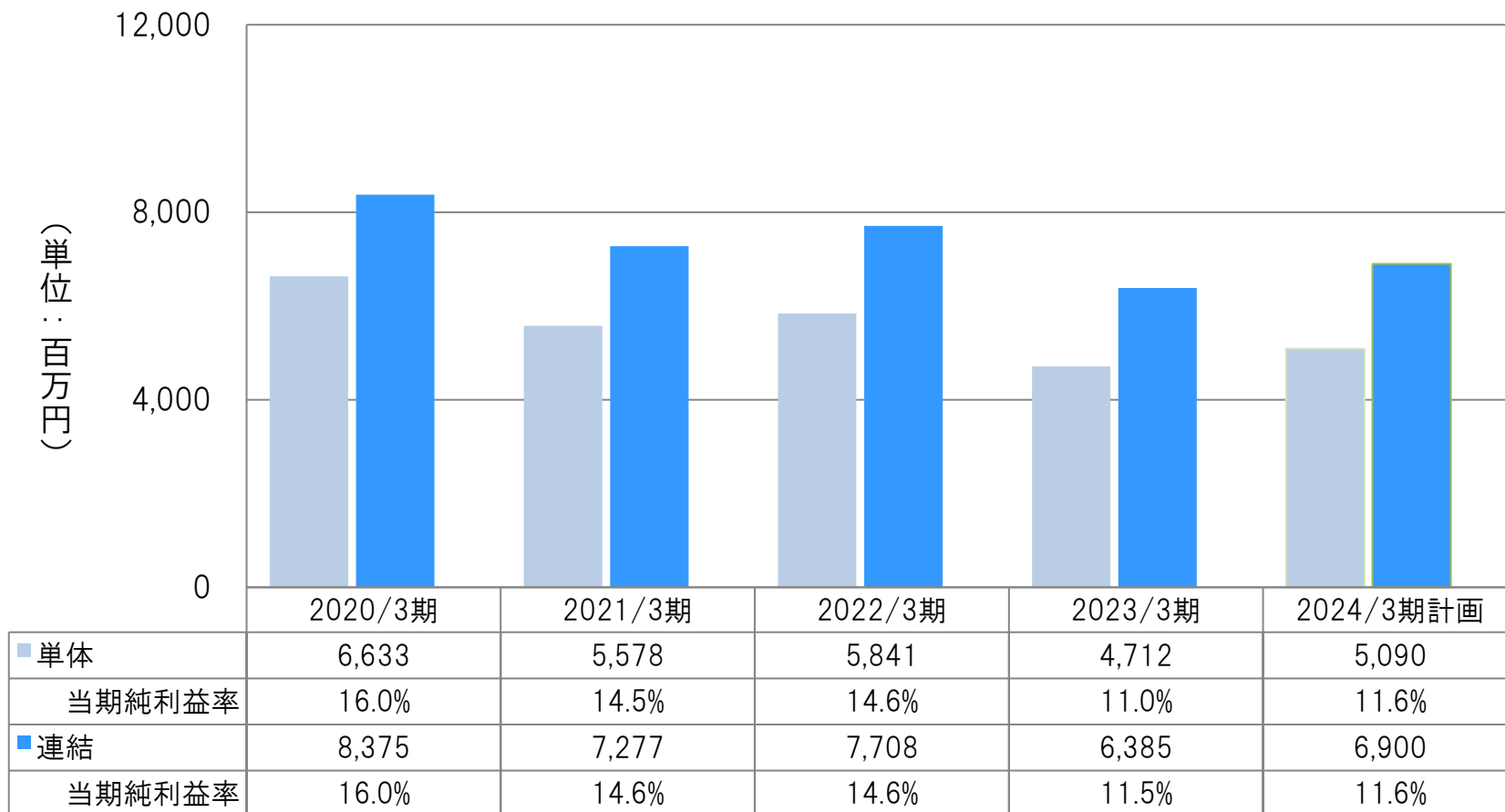


	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期計画
■ 単体	9,233	8,116	8,357	6,492	7,100
経常利益率	22.3%	21.0%	20.9%	15.2%	16.1%
■ 連結	11,908	10,675	11,340	9,270	10,000
経常利益率	22.8%	21.5%	21.5%	16.6%	16.8%

第3四半期 親会社株主に帰属する 四半期純利益の推移（単体・連結）



通期 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移（単体・連結）



第3四半期 売上高（対前年実績）

※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	2024/3期 3Q	2023/3期 3Q	増 減		為替中立
アリアケジャパン	337.4	318.5	18.9	5.9%	5.9%
子会社 計 ※	109.6	102.0	7.6	7.4%	3.3%
アジア	70.7	65.4	5.3	8.0%	7.1%
欧州	36.6	34.5	2.2	6.3%	-4.2%
日本	2.3	2.1	0.2	8.3%	8.3%
連結	447.0	420.5	26.5	6.3%	5.3%

（括弧は計画レート）

EUR(141.47)	158.00	142.32	15.68
人民元(19.01)	20.46	20.37	0.09
台湾ドル(4.33)	4.63	4.56	0.07
ルピア(0.0085)	0.0097	0.0095	0.0002

第3四半期 営業利益（対前年実績）

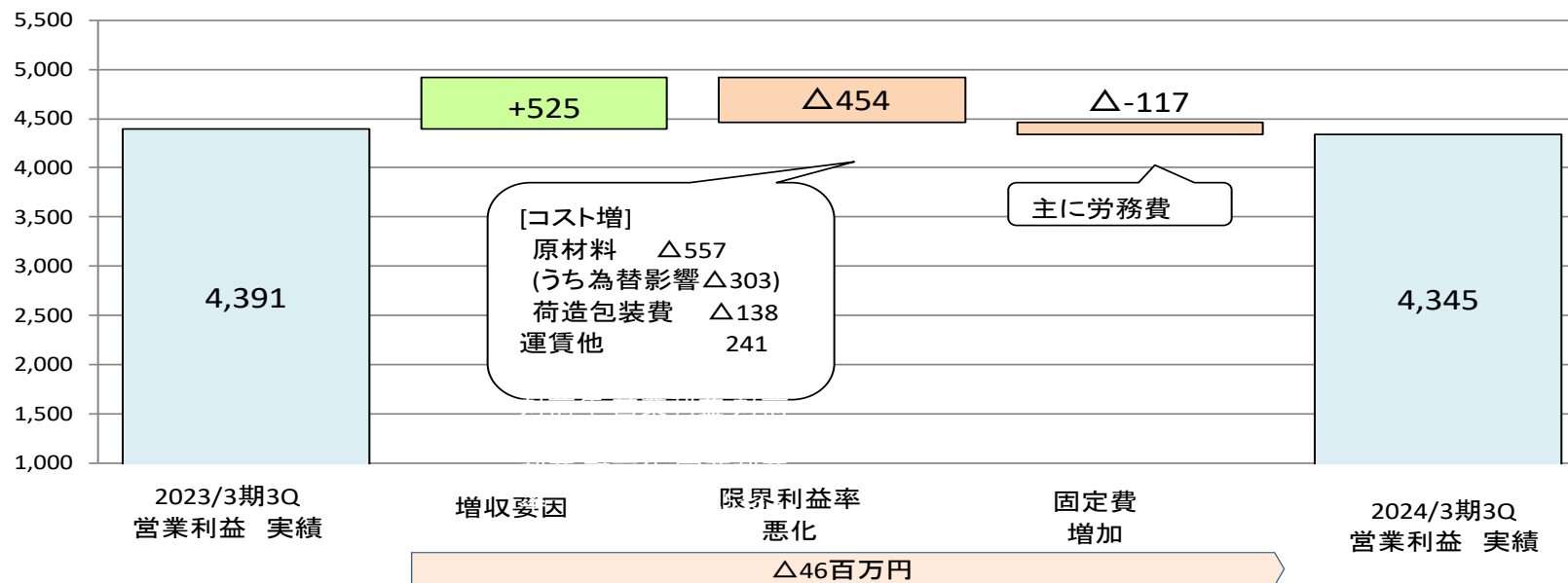
※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	2024/3期 3Q	2023/3期 3Q	増 減		為替中立
アリアケジャパン	43.4	43.9	△ 0.5	-1.0%	-1.0%
子会社 計 ※	20.0	20.5	△ 0.5	-2.2%	-4.6%
アジア	16.7	15.2	1.5	9.7%	8.7%
欧州	3.2	5.2	△ 2.0	-37.8%	-44.0%
日本	0.1	0.1	0.0	0.0%	0.0%
連結	63.5	64.4	△ 0.9	-1.4%	-2.2%

第3四半期 単体業績の概要（利益変動要因）

■ **営業利益 4,344百万円** 前年比△46百万円（△1.0%） （単位：百万円）

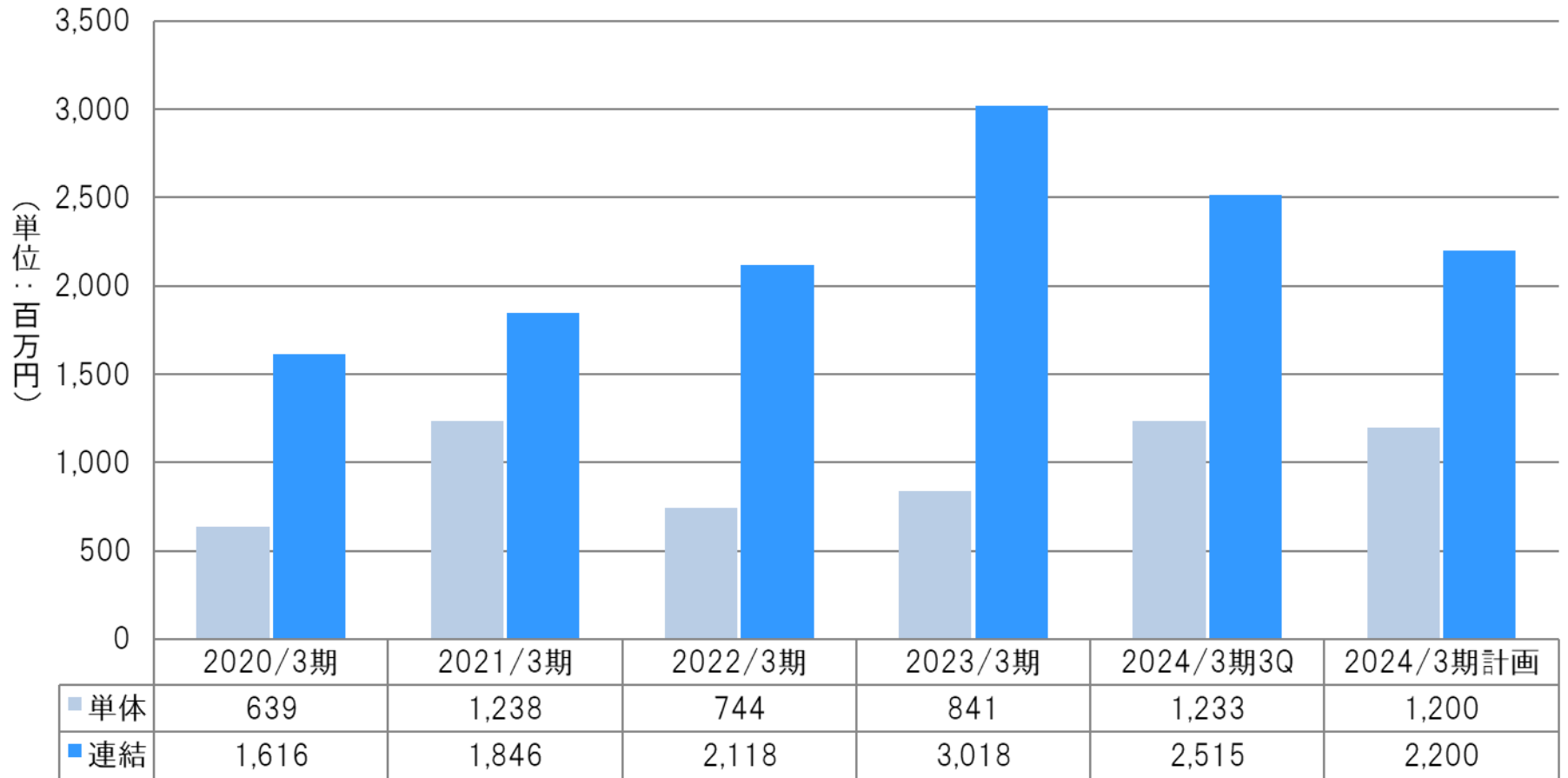


■ **経常利益 4,614百万円** 前年比△340百万円（△6.9%）

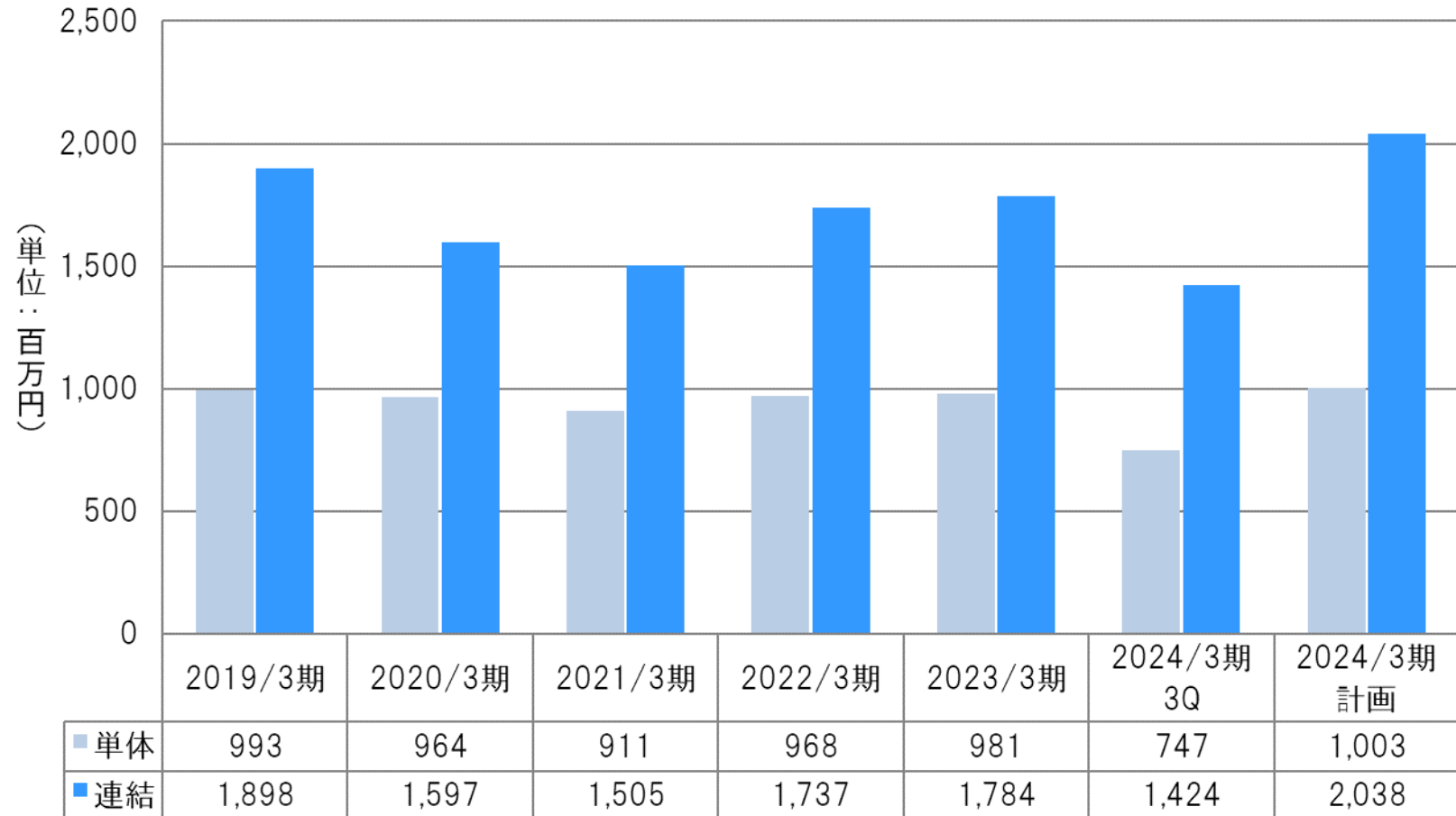
（単位：百万円）

増加要因	為替差益	747
	受取配当金等	235
減少要因	営業利益減少	△46
	デリバティブ評価損	△1,276
	合計	△340

設備投資の推移（連結・単体）



減価償却費の推移（連結・単体）



今後のグループ成長戦略

□2030年 連結1000億円売上

- 2023年度約600億円（計画）の売上を2030年度に1000億円へ伸ばします。
- 伸びしろが大きい、海外（特に中国、ベルギー、米国）に注力致します。
- 川上から川下へ、より加工度が高い製品、B2C製品へ拡大致します。

□設備投資

- 中国は調理加工品、米国は新規開発製品の生産設備を増強致します。工場の増設、新設を合わせ、約300億円の投資を想定しております。
- その他海外子会社においても、売上増に対応する設備増強を適宜実施します。
- 国内は売上500億円に対応する設備増強を実施します。

□人的資本

- 海外事業拡大に必要な人材の強化と育成を行います。

[ベルギー]UHTブイヨンの販売開始

- ベルギー工場内に25億円を投じ、UHT設備新設及び抽出設備増設しました。
- 100%天然の高品質のUHTストレートチキンブイオンを製造し、フランス国内にて家庭用を中心に販売致します。
- 2023年12月から、カルフル、モノプリなどのスーパーマーケットで販売開始致しました。
- 販売開始に合わせ、TV、雑誌、SNS等でプロモーション実施中です。
- 同時にB2Bでの拡販を行います。
- UHTブイオンを中心とした販売戦略により2024年には10億円売上増、2030年度には約100億円の売上を目指しております。

Ariaké lance des bouillons de volaille prêts à l'emploi

Le spécialiste japonais des bouillons propose deux recettes au rayon des soupes et des potages liquides.



© Ariaké

La gamme compte deux recettes : le bouillon Pur, limpide et clarifié, et le bouillon Gourmand, de couleur ivoire.

Fondée en 1966 par **Kineo Okada**, toujours aux manettes de l'entreprise à 91 ans, **Ariaké** est aujourd'hui l'archi-leader de la soupe ramen au Japon. Après avoir lancé en 2010 une gamme de bouillon à infuser naturels (8 références) en collaboration avec le chef multi-étoilé **Joël Robuchon**, puis de soupes miso (2 recettes), la marque ose la rupture au rayon des soupes et des potages en proposant deux bouillons de volaille liquides prêts à l'emploi, pour un usage à boire ou à cuisiner, en brique de 1 litre. Tandis que le bouillon Pur est dégraissé et clarifié pour préparer un risotto ou une soupe à l'oignon, le bouillon Gourmand, de couleur ivoire, est idéal pour les plats mijotés et les soupes crémeuses. "La tradition du bouillon est encore très vivante en Asie en début de repas. Elle s'est en revanche un peu perdue en Europe et en particulier en France où seuls quelques chefs les utilisent dans leurs préparations", déplore **Laurent Seguin**, directeur commercial et marketing pour l'Europe.

Publicité télé

"Comme l'ensemble de nos gammes élaborées par nos deux usines européennes d'Aleçon, dans l'Orne, et de Moasmehelen, en Belgique, ces bouillons sont préparés à partir de carcasses fraîches de poulet, de carottes, de céleris et d'oignons. Les ingrédients sont cuits plusieurs heures avec une pointe de sel (0,55 g au 100 ml), sans exhausteurs de goûts ni arômes", précise le directeur européen. Proposés à un prix de vente indicatif de 3,2 €, ils seront implantés au rayon des soupes et des potages en avant-première chez **Carrefour** et **Monoprix**. Ce lancement sera accompagné, dès le 20 novembre 2023, par une pub télé, la première pour la marque en France, avec la promesse "avec Ariaké, bouillonnez d'inspiration", afin d'illustrer la praticité et la versatilité de la gamme. Encore inexistant, le marché du bouillon liquide prêt à l'emploi est beaucoup plus développé dans d'autres pays, "comme en Espagne où le segment du « caldo » pèse 170 M€, ou aux Etats-Unis, où il représente 1,9 Md€", explique **Laurent Seguin**. D'autres recettes de bouillon devraient suivre à base de bœuf ou de légumes.

Nouvelle ligne de conditionnement

Pour ce lancement, Ariaké Europe (53 M€, 138 salariés) a investi 20 M€ dans l'installation d'une ligne de conditionnement en brique au sein de son unité belge. Le groupe réalise environ 400 M€ de CA, employant 1 500 salariés et exploitant 7 usines en Asie et en Europe.

[ベルギー] UHTブイオン抽出設備

抽出槽



抽出液受槽



濃縮器



[ベルギー] UHTブイオン殺菌・充填設備

UHT (全体)



殺菌機



充填機



自動製函機



パレタイザー



[中国]設備増強と新工場建設

□設備増強

- 中期事業計画2025年度売上高85億円（連結調整前）に対応するために、青島第二工場内に抽出、ろ過、濃縮、充填ラインを増設致しました。
- 充填ラインには、具材充填機を設置し、調理加工品（予製菜）の製造が可能になりました。
- 中国国内の大手流通、外食、EC等を顧客として、調理加工品の販売を行います。

□新工場建設

- 既設青島工場隣接地に新工場を建設予定で現在設計を進行中です。
- 今後急成長すると予想される惣菜市場（予製菜）に日本で長年培ったレトルト製造技術を活用し、参入致します。

[中国]青島工場設備増強

- 2025年度売上高85億円に対応 青島工場設備増強



10m3抽出槽



ろ過設備



真空濃縮機



5m3配合槽



具材充填設備 (B2C小型パウチ用)

[米国工場]再進出に向けて

□米国市場への再進出

- 東海岸バージニア州を工場建設候補地を選定致しました。
- 現地法人を設立し、ラボを設置、現地にて試作品を作成し、マーケティングを開始致します。

□B2C参入

- 米国ではB2C事業への参入予定しております。
- 4兆円あるとされる市場をターゲットとして2年間、商品開発を進めて参りました。品質、価格、健康という観点から優位性のある新規商品を投入致します。
- 2番目の柱となるのが、消費者向け最終製品（調理加工品）の製造です。国内で培った、CVS向けビーフシチュー、カレーなどの生産技術をさらに進化させ、利便性を向上させ、かつ品質に優れた製品を製造・販売する計画です。

[アリアケジャパン] 生産設備増強

第二工場 B2C対応具材充填設備



自動パウチ整列機



スプレー式レトルト殺菌機



第二工場 B2B対応充填機（大袋）



第一工場 6m3大型配合槽



急速冷凍庫



[アリアケジャパン]カテゴリー別売上比率及び増減

カテゴリー	売上比率	前年比増減
食品メーカー	20%	+2%
外食	45%	+14%
CVS	35%	+1%
合計	100%	+6%

サステナビリティへの取組

- サステナビリティ経営戦略の策定（基本方針、ビジョン、経営方針）、サステナビリティ委員会の設置、マテリアリティ（重要課題）の特定プロセスの整備、マテリアリティの特定及び主要な取組指標KPIの設定などを行い、具体的な取り組み事例とともに、当社ホームページ上に開示致しております。
- 脱炭素にも積極的に取り組み、2021年4月より、九州第一・第二工場で使用する全電力を再生可能エネルギーへ変換、2022年5月より、自家消費型太陽光発電システム（オンサイトPPA）による再生可能エネルギー電気の使用を開始致しました。
- その他、LNG気化器の空温化、ボイラー設備からの廃熱利用、野菜原料の再利用等に取り組み、2022年度は2020年度比57%のCO₂削減を達成致しました。



九州第二工場 自家消費型太陽光発電システム

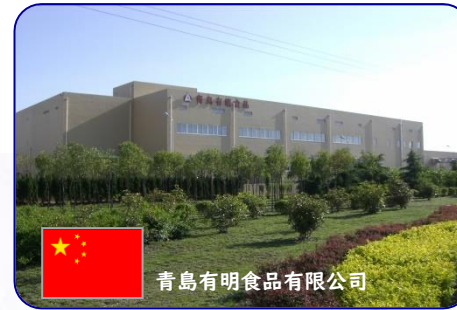


LNG気化器空温式変換及び冷熱再利用

アリアケグループ「世界 7 極体制」



Henningesen
Nederland B.V.

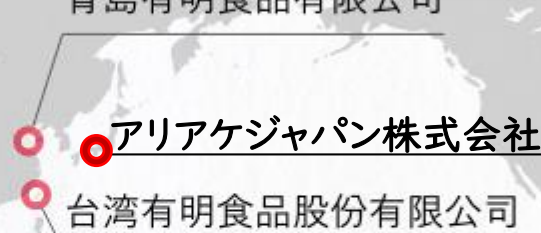


青島有明食品有限公司



Ariake Europe NV

F. P. Natural
Ingredients SAS



台湾有明食品股份有限公司



PT. Ariake Europe Indonesia



- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。これには為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上、収益性、設備投資、その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況など、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。